

# 倶知安 農業委員会だより

NO.15 平成23年8月1日

《 発行 者 》

倶知安町農業委員会(第21期委員)

倶知安町北1条東3丁目3番地

電話 56-8017

FAX 23-2044

[noui@town.kutchan.lg.jp](mailto:noui@town.kutchan.lg.jp)



## 農業委員改選に際して

第二十一期農業委員会会長

大橋 章 夫

本年は農業委員選挙の年です。

七月の選挙で九名の委員が選任され、推薦による四名の委員と併せて十三名で、三年間、倶知安町農業の発展振興のため務めさせていただきます。

また、七月二十二日の第七回総会において、農業委員の互選により私が会長に推されました。力不足ではございますが、皆様のお力添えの下、責務を全うして参りたいと存じます。

農業は、倶知安町の基幹産業の一つであり、農業を続けられる環境を作ることが重要です。

三月の東日本大震災では、原発事故による農畜産物の風評被害など、食料の安全、安心という言葉さえ揺るがし、今までにない衝撃を受けました。一方で、忘れがちな人を想う心、助け合いの心を再確認することもできました。

近年の異常気象などで世界的な食料危機にも発展しかねない状況の中、必要なものは少し手を延ばせば届く時は終わりに近づいているのかもしれない。

どのような困難にも対応できる足腰の強い農業、意識改革なども視野に入れた農業経営が要求される時代が来ると思われます。

農業委員会は、農地と農家を守るために法律で定められた組織ですが、食料生産の現場を守ることは消費者を守ることもあります。

今後とも、町民の皆様のご理解とご協力により、倶知安町農業のため努力して参ります。どうぞよろしくお願いたします。

# 第21期農業委員会委員

平成23年7月20日から3年間

農業者の代表として務めさせていただきます



林 哲也(2班)  
寒別253番地

三木 繁勝(1班)  
瑞穂56番地

内田やよい(4班)  
高砂217番地  
《議会推薦》

高田 玲子(4班)  
比羅夫219番地

山田 勉(1班)  
出雲138番地

大島 秀章(1班)  
高見258番地  
《農協推薦》

村元 剛(2班)  
瑞穂91番地

農地委員長  
滝澤 正史(1班)  
扶桑1番地

会長職務代理者  
三条 聡(3班)  
豊岡185番地

農業委員会会長  
大橋 章夫(2班)  
寒別108番地

委員協議会長  
原田 修(4班)  
琴平577番地

農業振興委員長  
森 豊茂(3班)  
富士見28番地  
《改良区推薦》

川崎 俊治(3班)  
巽83番地  
《共済組合推薦》

※

( ) 内は担当班  
太字は班長

担当地区	
1 班	峠下・琴平 高見・末広 出雲・扶桑 大和・瑞穂 (2を除く) 八幡の一部 市街地大通り 以北
2 班	八幡(一部を除く) 瑞穂2・緑 市街地大通り 以南
3 班	寒別・山梨 豊岡・巽 高嶺
4 班	富士見・高砂 岩尾別・旭 山田・樺山 花園

長く農業委員として活躍され、このたびの改選で退任された方々から一言いただきました。  
 倶知安農業の発展にご尽力いただき、誠にありがとうございました。

### 退任にあたって

前農業委員会会長

伊達 隆

八期二十四年間の長きにわたり、地域の皆様のご指導、ご支援誠にありがとうございました。

本町基幹産業の一つである農業をめぐる状況は大変厳しいものがあります。輸入農畜産物の増加、価格低迷、農業後継者問題など多くの課題に直面しています。

農業の持続的発展、農業者が意欲を持って生産に専念できるよう、農業委員会は農業者の代表として、政への意見反映、そして将来の見える農業の一助として様々な活動に取り組んでいます。

今後、本町農業発展振興のために委員一丸となり調査・研究を進め、さらにまい進されることをお祈りいたします。

今後においては農業委員会の応援者として、協力、支援させていただきます。委員の皆さまの益々のご活躍をご期待申し上げます。大変お世話になり、誠にありがとうございました。

阿部 敏洋

活動の原点は「土地と人を守る」ことであり、その目標に向かい日々の行動と信頼が求められていると思います。

将来の姿が描ききれない時代背景であります。より身近な農業委員会であるとともに、標となることを期待いたします。

安達 進

今期をもちまして、退任することとなりました。五期十五年、皆様に推され大過なく全うできましたことをお礼申し上げますとともに、今後ともよろしくお願いいたします。

木田 重信

五期十五年間努めさせていただきました。この間、与えられた職責を全うすることができました。

これも偏に関係各位のご指導、ご支援の賜として深く感謝を申し上げます。農業委員会の益々の発展と皆様のご活躍を心からお祈り申し上げます。退任の言葉といたします。

近藤 信一

二期六年の短い期間でしたが倶知安町農業の実態を知り、また、職責を全うすることができましたのは、皆様のお陰と深く感謝申し上げます。

今後、農家の減少、農地法の改正など、益々農業委員会の役割が重要となってきます。委員の皆様のご活躍を期待申し上げます。

田村 裕昭

十二年間のご支援を、心から感謝申し上げます。  
 農業者の最重要事項である農地の権利移動の現場で、自分なりに一杯やらせていただきました。本当にありがとうございました。

新任された委員皆様の、ご活躍をご祈念申し上げます。

藤田 孝和

五期十五年間皆様に支えられ、ご指導戴いたおかげと感謝の気持ちです。厚くお礼を申し上げます。

農業政策の大転換、国際化の進展など、地域農業を取り巻く環境、今後の農業の課題は大なるものです。農業委員会の皆様の益々のご活躍と、ご健康をご祈念申し上げます。

前田 栄二

委員の皆様には大変お世話になりました。農地法も随分変わり、これからも大変だと思えます。委員退任後も、できる限りご協力します。九年間、ありがとうございました。

蒔田 政見

十二年間にわたり、多くの皆様のご支援とご指導を賜わり、お陰をもちまして微力ながら任務を全うすることができました。

ここに皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます、お礼のご挨拶いたします。

## 倶知安町の農業情報

農業は、倶知安町の基幹産業の代表です。  
 倶知安町で生産された作物は、町内はもとより、道内や本州各地で消費されています。  
 北海道は日本の食料基地であり、倶知安町もその一翼を担っています。  
 倶知安町農業の最近の情報をお知らせします。

◎農業人口 H23. 1. 1現在

男	女	計	戸数
362人	305人	667人	230戸

◎農地面積 H23. 6. 1現在

田	畑	計
1,340 ha	3,363 ha	4,703 ha

◎主な作物の作付面積・飼育数 H23年耕種状況調

馬鈴薯	1,201 ha	かぼちゃ	34 ha
ピート	448 ha	玉ねぎ	34 ha
小麦	440 ha	にんじん	30 ha
小豆	721 ha	メロン	6 ha
大豆	272 ha	緑肥	110 ha
うるち米	214 ha	乳牛	805頭
もち米	48 ha	肉牛	128頭
飼料作物	317 ha	鶏	29,126羽

\* このほかにも、色々な野菜が作られています。

# 農業委員会活動報告

(平成23年1月～23年7月)

1月12日	農地等利用調整会議 (2班)
1月27日	地区別農業委員会会長・事務局長会議
1月31日	第1回総会
1月21日	農地等利用調整会議 (2班)
1月24日	農地等利用調整会議 (1班)
2月 4日	農地等利用調整会議 (1班)
2月21日	農地等利用調整会議 (1班)
2月28日	第2回総会
3月15日	農地等利用調整会議 (1班)
3月31日	第3回総会
3月31日	農地等利用調整会議 (1班)
4月5-6日	山麓地区農業委員会協議会通常総会
4月 8日	農地等利用調整会議 (1班)
4月 9日	後志地方農業委員会連合会通常総会
4月15日	農地等利用調整会議 (1班)
4月28日	第4回総会
5月25-26日	全国会長大会・国会議員要請活動
5月31日	第5回総会
6月30日	第6回総会
7月22日	第7回総会 (第21期委員)

## アメリカ力農業視察を終えて

俱知安認定農業者協議会

瀬尾 雄太

この度のアメリカ力農業視察を終えて、アメリカ農業がどのような方法で行なわれているかを、目で感じて肌で触れる事ができました。

二日目、サクラメント郡農民組合を訪ねました。

アメリカには日本の農協のような組織がなく、農民の声を一つにまとめて政策に反映させることを目的と

して、1917年に農民組合会組織が設立されました。カリフォルニア州農民組合連合会を組織している53の郡農民組合の一つですが、経済行為は一切していません。州農民組合連合はすべての州にあり、米国外最大の農業団体であるアメリカファーマビュロー連合を構成しています。郡から州、そして全米へと上がってきた共通政策を実現させる活動を展開しているとのこと。

今回、訪問したサクラメント郡農民組合は、会員数は3300戸、主な活動内容は、(1)大手保険会社との

農業保険等の契約、(2)肥料や機械の購入あつせん、(3)雇用・労働関係の弁護士への派遣、(4)市場のマーケティング調査・研究などの活動を行っているということ。

ここカリフォルニアでは少雨や、都市化による生活用水の需要の高まりから、農業用水確保が以前より難しくなってきたという問題や、日本と同様に後継者不足問題解決への取組みも行っているそうです。

このサクラメント郡農民組合に加入して、ケン・オネットさんの農場を案内していただきました。ここは家族4人での農場経営で、弟さんが共同経営者となり総面積880haの農場です。作付け作物はサクラント、トウモロコシなど全部で8品目です。雇用労働者は常雇15人、パートはすべてメキシコ人季節雇いで120人ということですが、近年は雇用労働に関する作業の安全確保や社会保障に関する問題が増えてきているのが悩みということだそうです。

このアメリカ農業の視察を通して、カリフォルニア州の農業情勢を直接現地でも触れることができたのは、貴重な体験でした。日本とアメリカでは気候も規模も考え方もまるで違いますが、今後この体験を生かし、自分のこれからの農業経営に役立てたいと思います。

この視察の運営や支援に関わった皆様方、ありがとうございました。(この紙面では全てを掲載できないため、その一部を抜粋し掲載させていただきます。)

## 編集後記

第二十期農業委員の任期を終え、この三年間農業委員会だよりで、農業のことや委員会の役割等を発信してまいりましたが、いかほど貢献できたのか、思い返し反省しきりです。

近年、特に気候の変化が感じられます。春の長雨、夏の高湿等、農業は天候に左右されるものです。今年もどうなるのか気にかかるところです。

また、農地制度が変わり、一般法人も農業に参入しやすくなるなど、委員会の対応や役割も多様化し、効率的な農業が問われています。

次号より第二十一期の委員で発行してまいります。今後とよろしくお願いいたします。

編集委員 (安達)

安達 進  
三条 聡  
滝澤 正史  
内田 やよい